

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
営業秘密又は防護上の観点から  
公開できません。

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-974 改 3
提出年月日	平成 30 年 9 月 14 日

## V-2-3-3-2-6 燃料支持金具の耐震性についての計算書

## 目次

1. 一般事項	1
1. 1 記号の説明	1
1. 2 適用基準	1
1. 3 形状・寸法・材料	1
1. 4 解析範囲	1
1. 5 計算結果の概要	1
2. 計算条件	5
2. 1 設計条件	5
2. 2 運転条件	5
2. 3 重大事故等時の条件	5
2. 4 荷重の組合せ及び許容応力状態	5
2. 5 材料	5
2. 6 物性値	5
2. 7 荷重の組合せと応力評価	5
2. 8 許容限界	5
2. 9 応力の記号と方向	5
3. 外荷重の条件	6
3. 1 死荷重	6
3. 2 地震荷重	6
4. 応力計算	6
4. 1 応力評価点	6
4. 2 差圧による応力	6
4. 2. 1 荷重条件 (L02)	6
4. 2. 2 計算方法	6
4. 3 外荷重による応力	7
4. 3. 1 荷重条件 (L04, L14 及び L16)	7
4. 3. 2 計算方法	7
4. 4 応力の評価	7
5. 応力強さの評価	8
5. 1 一次一般膜応力強さの評価	8
5. 2 一次一般膜+一次曲げ応力強さの評価	8

## 図表目次

図 1-1 形状・寸法・材料・応力評価点	2
図 4-1 中央燃料支持金具の差圧による応力計算モデル	10
図 4-2 中央燃料支持金具の外荷重による応力計算モデル	10
表 1-1 計算結果の概要	4
表 4-1 断面性状	9
表 5-1 一次一般膜応力強さの評価のまとめ	11
表 5-2 一次一般膜+一次曲げ応力強さの評価のまとめ	12

## 1. 一般事項

本計算書は、燃料支持金具の耐震性についての計算書である。

燃料支持金具は、炉心支持構造物であるため、添付書類「V-2-3-3-2-1 炉心支持構造物の応力解析の方針」（以下「応力解析の方針」という。）に基づくものとする。

### 1.1 記号の説明

記号の説明は、「応力解析の方針」の2章に示す。

さらに、本計算書において、以下の記号を用いる。

記号	記号の説明	単位
A	断面積	mm <sup>2</sup>
D <sub>i</sub>	内径	mm
D <sub>o</sub>	外径	mm
I	断面二次モーメント	mm <sup>4</sup>
ℓ	高さ	mm
t	厚さ	mm

### 1.2 適用基準

適用基準は、「応力解析の方針」の1.3節に示す。

### 1.3 形状・寸法・材料

本計算書で解析する箇所の形状・寸法・材料を図1-1に示す。

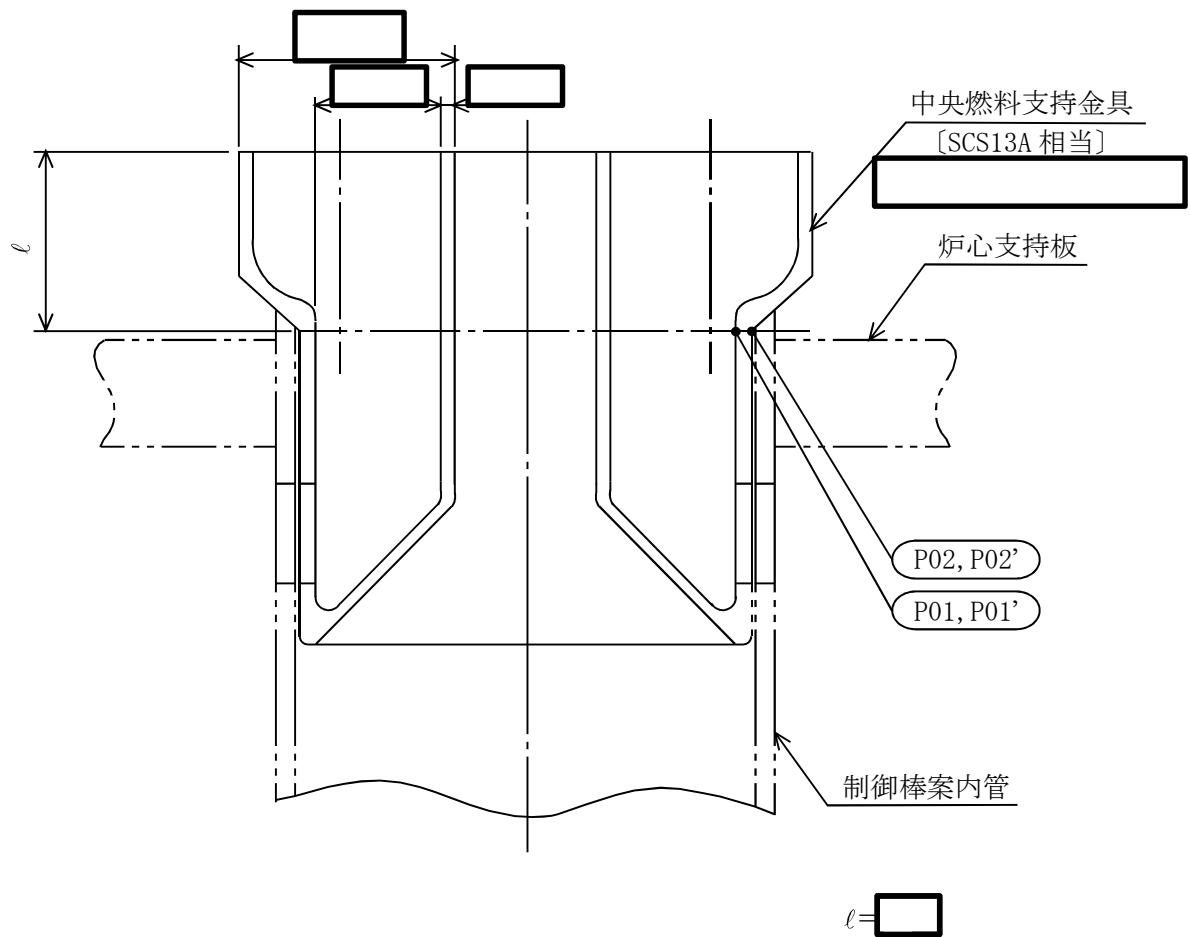
### 1.4 解析範囲

解析範囲を図1-1に示す。

### 1.5 計算結果の概要

計算結果の概要を表1-1に示す。

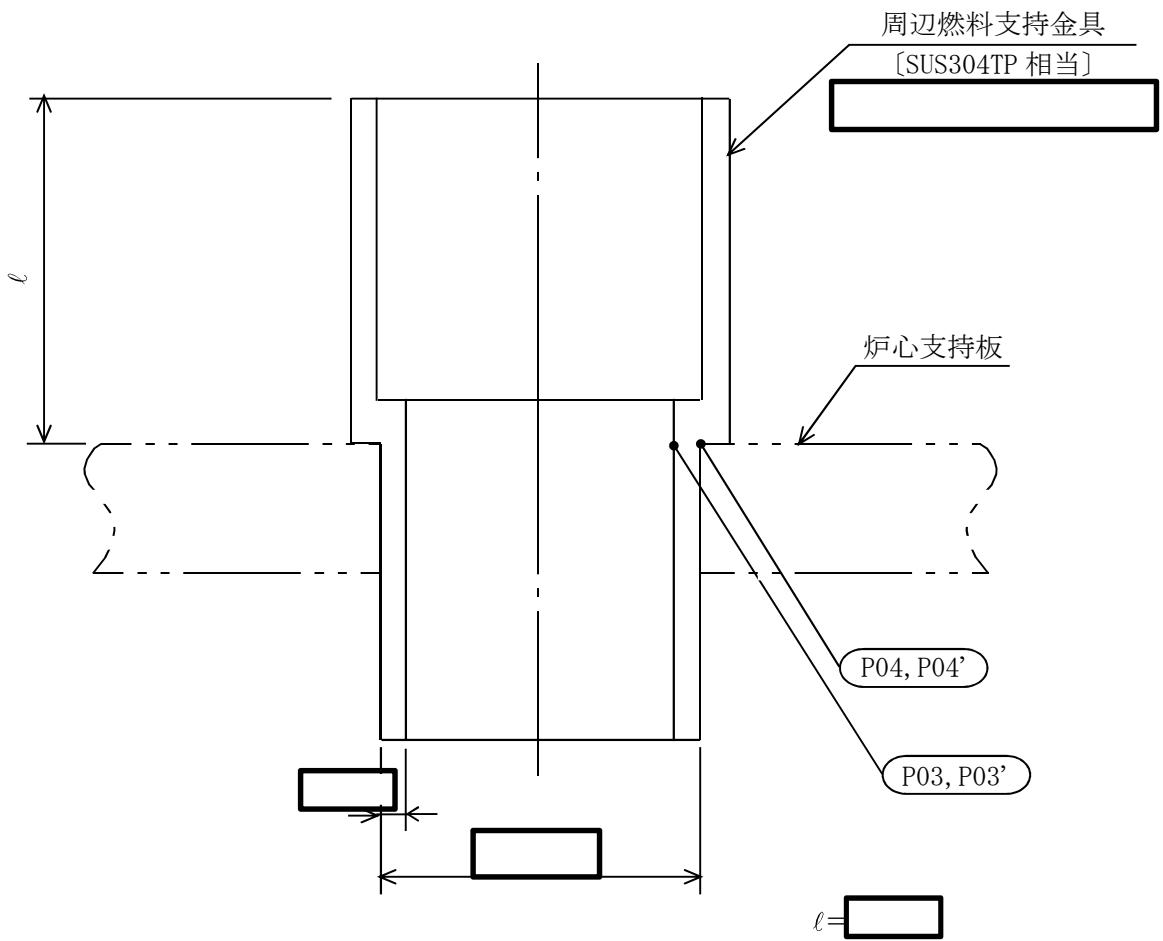
なお、応力評価点の選定に当たっては、形状不連続部、溶接部及び厳しい荷重作用点に着目し、応力評価上厳しくなる代表的な評価点を本計算書に記載している。



$\ell = \square$

( ) : 応力評価点  
[ ] : J I S 相当材  
( ) : 材 料

図1-1(1) 形状・寸法・材料・応力評価点 (単位 : mm)



( ) : 応力評価点  
[ ] : J I S相当材  
( ) : 材 料

図1-1(2) 形状・寸法・材料・応力評価点 (単位: mm)

表 1-1 計算結果の概要

部分及び材料	許容応力状態	一次一般膜応力強さ (MPa)			一次一般膜+ 一次曲げ応力強さ (MPa)		
		応力 強さ	許容値	応力 評価面	応力 強さ	許容値	応力 評価面
中央 燃料支持金具 SCS13A	III <sub>A</sub> S	14	172	P01'-P02'	14	258	P01'-P02'
	IV <sub>A</sub> S	21	248	P01'-P02'	21	372	P01'-P02'
周辺 燃料支持金具 SUS304TP	III <sub>A</sub> S	8	68	P03'-P04'	8	103	P03'-P04'
	IV <sub>A</sub> S	12	104	P03'-P04'	12	156	P03'-P04'

## 2. 計算条件

### 2.1 設計条件

設計条件を「応力解析の方針」の4.1節に示す。

### 2.2 運転条件

考慮した運転条件を「応力解析の方針」の4.2節に示す。

### 2.3 重大事故等時の条件

重大事故等時の条件を「応力解析の方針」の4.3節に示す。

### 2.4 荷重の組合せ及び許容応力状態

荷重の組合せ及び許容応力状態は、「応力解析の方針」の3.4節に示す。

### 2.5 材料

各部の材料を図1-1に示す。

### 2.6 物性値

物性値は、「応力解析の方針」の3.3節に示す。

### 2.7 荷重の組合せと応力評価

荷重の組合せと応力評価は、「応力解析の方針」の4.5節に示す。

### 2.8 許容限界

許容限界は、「応力解析の方針」の3.5節に示す。

### 2.9 応力の記号と方向

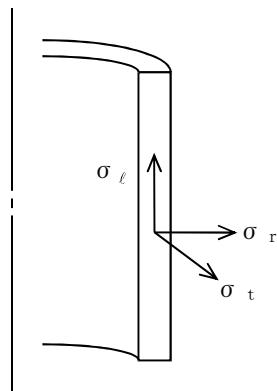
応力の記号とその方向は、以下のとおりとする。

$\sigma_t$  : 周方向応力

$\sigma_\ell$  : 軸方向応力

$\sigma_r$  : 半径方向応力

$\tau_{t\ell}$  : せん断応力



### 3. 外荷重の条件

#### 3.1 死荷重

燃料支持金具の評価に用いる死荷重を「応力解析の方針」の 4.4.1 項に示す。

#### 3.2 地震荷重

燃料支持金具の評価に用いる地震荷重を「応力解析の方針」の 4.4.3 項に示す。

### 4. 応力計算

#### 4.1 応力評価点

応力評価点の位置を図 1-1 に示す。

また、各応力評価点の断面性状を表 4-1 に示す。

#### 4.2 差圧による応力

##### 4.2.1 荷重条件 (L02)

各運転条件による差圧を「応力解析の方針」の 4 章の図 4-1 に示す。

計算は、設計条件に対して行い、許容応力状態での応力は、比例計算により求める。

##### 4.2.2 計算方法

中央燃料支持金具の差圧による応力は、応力評価点の位置における断面で、外径を  $\phi$  [mm] とし、かつ厚さが最小となる円筒を考え計算する。

中央燃料支持金具の差圧による応力計算のモデルを、図 4-1 に示す。

周辺燃料支持金具の差圧による応力は、応力評価点の位置における断面の円筒を考え計算する。

##### (1) 一次一般膜応力

差圧  $P_{13}$  による一次一般膜応力は、次式で求める。

$$\sigma_t = \frac{1}{Y-1} \cdot P_{13}$$

$$\sigma_\ell = \frac{1}{Y^2-1} \cdot P_{13}$$

$$\sigma_r = -\frac{1}{Y+1} \cdot P_{13}$$

$$\text{ここで, } Y = \frac{D_o}{D_i}$$

## (2) 一次一般膜+一次曲げ応力

差圧による一次曲げ応力は存在しない。したがって、一次一般膜+一次曲げ応力は一次一般膜応力と同じである。

## 4.3 外荷重による応力

## 4.3.1 荷重条件 (L04, L14 及び L16)

燃料支持金具に働く外荷重を「応力解析の方針」の 4.4 節に示す。

## 4.3.2 計算方法

中央燃料支持金具の外荷重による応力は、応力評価点の位置における断面で、その断面の最小幅を内径とし、かつ厚さが最小となる円筒を考え計算する。

中央燃料支持金具の外荷重による応力計算のモデルを、図 4-2 に示す。

周辺燃料支持金具の外荷重による応力は、応力評価点の位置における断面の円筒を考え計算する。

## (1) 一次一般膜応力

外荷重による一次一般膜応力は、次式で求める。

$$\sigma_{\ell} = \frac{V}{A} + \frac{M}{I} \cdot \frac{D_o}{2}$$

$$\tau_{t\ell} = \frac{H}{A}$$

ここで、M : 応力評価点での水平力 H により発生するモーメント

$$M = H \cdot \ell$$

## (2) 一次一般膜+一次曲げ応力

外荷重による一次曲げ応力は存在しない。したがって、一次一般膜+一次曲げ応力は、一次一般膜応力と同じである。

## 4.4 応力の評価

各応力評価点で計算された応力は、応力を分類ごとに重ね合わせ、組合せ応力を求め応力強さを算出する。

応力強さの算出方法は「応力解析の方針」の 5.4 節に示す。

## 5. 応力強さの評価

### 5.1 一次一般膜応力強さの評価

各許容応力状態における評価をまとめて、表 5-1 に示す。

表 5-1 より、各許容応力状態の一次一般膜応力強さは、「応力解析の方針」の 3.5 節に示す許容値を満足する。

### 5.2 一次一般膜+一次曲げ応力強さの評価

各許容応力状態における評価をまとめて、表 5-2 に示す。

表 5-2 より、各許容応力状態の一次一般膜+一次曲げ応力強さは、「応力解析の方針」の 3.5 節に示す許容値を満足する。

表 4-1 断面性状

応力評価点	t (mm)	D <sub>o</sub> (mm)	D <sub>i</sub> (mm)	A (mm <sup>2</sup> )	I (mm <sup>4</sup> )
P01, P02*					
P03, P04					

注記 \* : 上段は差圧による応力計算のモデルの断面性状を示し、下段は外荷重による応力計算のモデルの断面性状を示す。

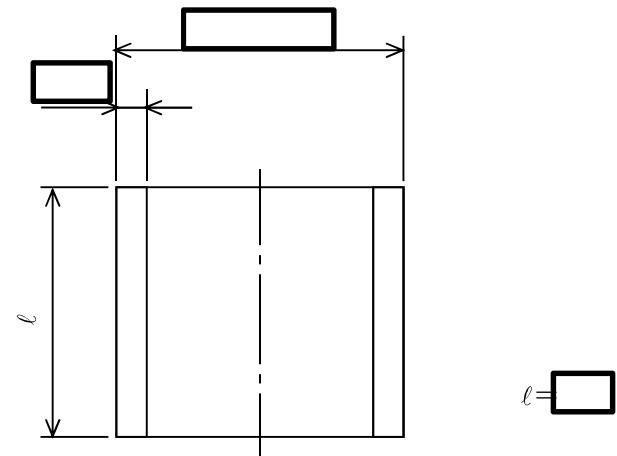


図 4-1 中央燃料支持金具の差圧による応力計算モデル（単位：mm）

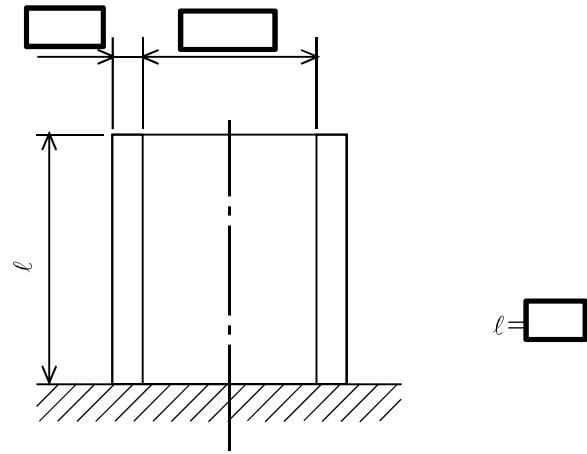


図 4-2 中央燃料支持金具の外荷重による応力計算モデル（単位：mm）

表 5-1 一次一般膜応力強さの評価のまとめ

(単位 : MPa)

応力 評価面	許容応力状態 III <sub>A</sub> S		許容応力状態 IV <sub>A</sub> S	
	応力 強さ	許容値	応力 強さ	許容値
P01	9	172	16	248
P02				
P01'	14	172	21	248
P02'				
P03	5	68*	9	104*
P04				
P03'	8	68*	12	104*
P04'				

注記 \* : 繰手効率  を乗じた値を示す。

表 5-2 一次一般膜+一次曲げ応力強さの評価のまとめ

(単位 : MPa)

応力 評価面	許容応力状態 $\text{III}_{\text{A}}\text{S}$		許容応力状態 $\text{IV}_{\text{A}}\text{S}$	
	応力 強さ	許容値	応力 強さ	許容値
P01	9	258	16	372
P02				
P01'	14	258	21	372
P02'				
P03	5	103*	9	156*
P04				
P03'	8	103*	12	156*
P04'				

注記 \* : 繰手効率  を乗じた値を示す。